

質問 1

質問日時：2026/08/11 10:44:35

作者の氏名：関根伸夫

作品の題名（タイトル）：空相－形骸化されたピラミッド

①なぜ、壁を作らず隙間だらけの形にしたのですか？

②タイトルにある「空相」ってどういう意味ですか？

回答 1

作家本人がお亡くなりになっているため、代わって回答いたします。

①なぜ、壁を作らず隙間だらけの形にしたのですか？

作品の近くに貼ってある「関根伸夫によるコメント」によると、この作品が表現したいことは、「厳格なピラミッド」と「不定形な名状しがたい（うまく言い表せない）人間の衝動」です。

ひとつの作品にその両方を表現したために、面が無い直線的なピラミッドと、ドロドロした形を一緒にしたのだらうと思います。もし、ピラミッドに壁（面）があったら、ふたつの要素が共存する形は、どんなふうになるでしょうか。想像してみてください。

②タイトルにある「空相」ってどういう意味ですか？

「空相」は、関根伸夫が 1969 年から晩年にかけて発表し続けた作品シリーズの名前です。

本展に展示されている《空相－形骸化されたピラミッド》だけでなく、多種多様な作品のタイトルに、この言葉が含まれています。

関根自身は、1977 年（34 歳のころ）に発表した文章の中で、「空相」シリーズについて以下のとおり説明しています。

「1969 年から現在も一部引き継ぐ傾向。「もの派」と称されるように、現実の事物に直接関与する仕事が多い。」

（典拠：関根伸夫『美術と都市と絵空事 半自伝』1985 年、株式会社 PARCO 出版局 初出：関根伸夫「出来事」『季刊現代彫刻』12 号、1977 年 3 月、聖豊社）

それから約 40 年後、2017 年（74 歳のころ）の個展「空相－皮膚」に寄せた作家のことばにも、「空相」の説明があります。

「初期の頃から命名している「空相」というタイトルは Phase が開かれているとの意味で、相が無限定で広く開かれ、まったく自由で束縛がないことである。」

（典拠：YOD Gallery「関根伸夫「空相－皮膚」」<https://www.yodgallery.com/copy-of-en-p-sekine-2017>、2026 年 8 月 16 日閲覧）

関根は「空相」シリーズよりも先に、位相幾何学を出発点とした「位相」シリーズによって注目を集

めました。

以上の背景から、「位相」の考え方を前提に、その制約にとらわれない、より自由な性質をもつ作品を「空相」と名付けるようになったのではないかと推測できます。

また、『般若心経』の言葉「是諸法空相」からも着想を得たと考えられます。